

# 令和2年9月市議会定例会 企画管理部 議案説明資料

## 目 次

### 【予算案件】

1	令和2年9月 企画管理部補正予算（案）総括表	1 頁
2	飛沫感染防止パネル及び空気清浄機の購入について	2 頁
3	新型コロナウイルス感染拡大防止キャンペーン事業について	3 頁
4	新型コロナウイルス感染症対応未来共創事業について	4 頁
5	大山地域公共施設複合化事業について	6 頁
6	市職員のテレワーク環境整備事業について	9 頁
7	インターネット環境改善事業について	10 頁
8	体温検知システム及びQR決済システムの導入について	11 頁
9	ガラス美術館受付・監視等業務委託に係る債務負担行為の設定について	12 頁

# 1 令和2年9月 企画管理部補正予算（案）総括表

【一般会計】

（単位：千円）

区分 予算科目(款・項)	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
企画管理部合計	9,174,743	182,077	9,356,820	
(款2)総務費	9,174,743	182,077	9,356,820	
(項1)総務管理費	3,706,082	576	3,706,658	職員研修費 576
(項2)企画費	5,248,457	181,501	5,429,958	企画事務費 16,287 官民連携推進事業費 11,800 情報管理事務費 149,185 管理運営事務費 (ガラス造形研究所費) 3,057 管理運営事務費 (ガラス美術館費) 1,172
(項6)統計調査費	205,945	0	205,945	
(項7)監査委員費	14,259	0	14,259	

**【職員研修費】**

**2 飛沫感染防止パネル及び空気清浄機の購入について**

[職員研修所]

(1) 補正額 576千円

財源内訳 国庫補助金 576千円  
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(2) 事業目的

職員研修会場における新型コロナウイルスの感染防止対策を講じるもの。

(3) 事業内容

新型コロナウイルスの飛沫感染防止対策として、講師用及び受講者用の  
アクリルパネルや空気清浄機（2台）の設置を行う。

【企画事務費】

3 新型コロナウイルス感染拡大防止キャンペーン事業について

[広報課]

(1) 補正額 9,500千円

財源内訳 国庫補助金 9,500千円  
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(2) 事業目的

感染拡大防止と社会経済活動の両立が課題となるなか、本市を訪れるビジネス客や観光客などに、本市の観光資源等をデザインしたマスクと感染症予防啓発チラシを配布することにより感染拡大防止とシティプロモーションの推進を図る。また、「新しい生活様式」を取り入れながら、市内観光スポットや飲食店などを公共交通で巡り、本市の魅力を紹介するテレビ番組を制作し、全国で放映することで、シティプロモーションの推進と地域経済の活性化を図る。

(3) 事業内容

ア. 公共交通で巡る富山市魅力発信事業 5,500千円

新型コロナウイルスの感染リスクを軽減する「新しい生活様式」を取り入れた公共交通、飲食店、観光スポットなど本市の魅力を紹介する番組を地元テレビ局が制作し、全国各地で放送する。番組内では、本市が出資した映画「大コメ騒動」のロケ地を巡るなど、映画のPRも行う。

イ. シティプロモーション用マスク配布事業 4,000千円

市内宿泊施設を利用するビジネス客や観光客等に対し、富山市のシティプロモーションに繋がるイラストを用いたマスクと観光庁が作成した「新しい旅のエチケット」のチラシを配布する。

【企画事務費】

4 新型コロナウイルス感染症対応未来共創事業について  
(とやまシティラボ推進事業)

[未来戦略室]

(1) 補正額 6,787千円

財源内訳 国庫補助金 6,787千円  
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(2) 事業目的

とやまシティラボ推進事業の一環として、市が富山駅前C i Cビル3階に整備したビジネス交流・共創拠点施設「Sketch Lab (スケッチラボ)」(次頁参照)を活用し、新型コロナウイルス感染症対応イノベーション創出プログラムを実施することにより、With/After コロナ時代における「未来共創」(次頁参照)の取組を推進するもの。

(3) 事業内容

「Sketch Lab」の産学官民による交流・共創機能を活用し、With/After コロナ時代における世界の潮流や未来予測などをテーマに、人材育成セミナーやオンラインによるビジネス交流イベントなど多彩なプログラムを企画する。

【事業費の内訳】

ア. 委託料 4,000千円

With/After コロナ時代におけるイノベーション創出のためのビジネス交流イベント等を実施するための「とやま未来共創チーム」(次頁参照)に対する委託料

イ. 負担金 2,487千円

本事業を実施するために必要な「Sketch Lab」の運営経費(Web会議システム使用料、駐車場サービス券購入費等に充当)

ウ. 備品購入費 300千円

「Sketch Lab」における新型コロナウイルスの感染防止対策として必要な施設備品購入費(パーティション、アクリル板等)

## 参 考

### 1. とやまシティラボ推進事業

市内全域を“ラボ（実験室）”に見立てた地域課題解決型の官民連携プラットフォーム「とやまシティラボ」を設立するとともに、市が産学官民のビジネス交流・共創拠点を富山駅前に整備し、オープンイノベーションを促進することで、地域課題解決や新ビジネス創出を目指す取組。（令和2年度新規事業）

### 2. 未来共創

とやまシティラボ推進事業の事業コンセプトとして次のとおり設定。

市内の産学官民が立場を越えた対話を重ねることで、未来のビジョン（ありたい姿）を共に描き、共有した上で、ビジョンからのバックキャストイング（未来起点の発想法）で地域課題を明確化するとともに、実証・試行を通じて課題解決に取り組み、新たな価値を創造すること。

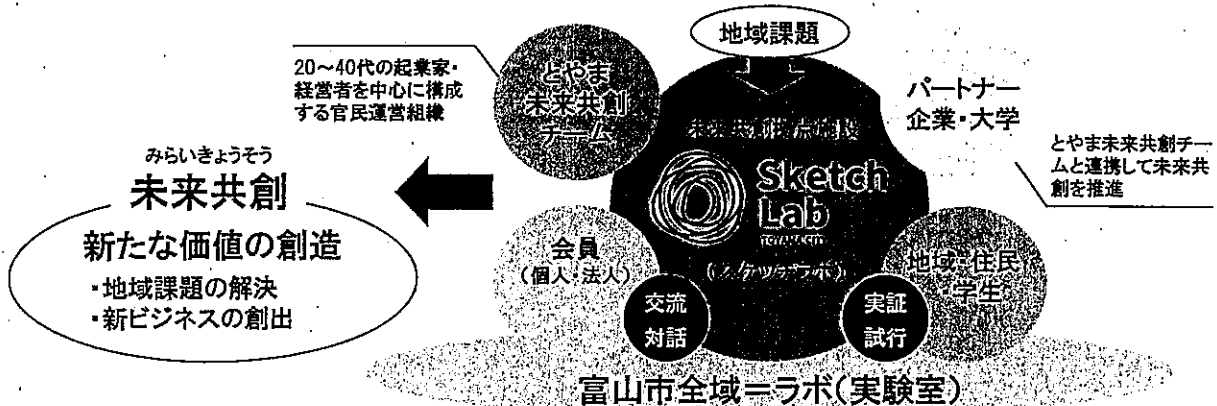
### 3. 「Sketch Lab（スケッチラボ）」

とやまシティラボ推進事業の一環として、市が富山駅前C i Cビル3階の市有施設内に整備した産学官民のビジネス交流・共創拠点施設。（令和2年9月7日供用開始）

### 4. とやま未来共創チーム

本市と連携し、「Sketch Lab」を拠点として未来共創を推進するための各種取組を行う市内の20～40代の若手経営者や起業家を中心に構成する官民連携組織。（本年7月1日設立）

<地域課題解決型官民連携プラットフォーム「とやまシティラボ」全体図>



## 5 大山地域公共施設複合化事業について

[行政経営課]

### (1) 趣 旨

大山地域の公共施設の再編統合に伴い、PFI手法により整備する新規複合施設の整備費及び維持管理費に係る債務負担行為を設定するもの。また、PFI手法により適切に事業を推進するためのアドバイザー業務委託に係る費用を計上するもの。

### (2) 債務負担行為の内容

#### ア. 想定施設規模

施設区分	延床面積	備考
新規複合施設	2,230 m <sup>2</sup> 以上	行政サービス部門（総務課、市民生活課、地域福祉課、保健福祉センター、教育行政センター）、地域交流センター部門（多目的ホール、会議室等）、図書館

イ. 期 間 令和2年度から令和19年度まで

ウ. 限度額 2,359,642千円

上記金額に金利変動及び物価変動による増減額並びに消費税及び地方消費税による増減額を加算した額の範囲内

財源内訳	国庫補助金	183,897千円
	(都市構造再編集中支援事業費補助金【国土交通省】)	
	市 債	875,900千円
	(公共施設等適正管理推進事業債)	
	一般財源	1,299,845千円

#### 【事業費の内訳】

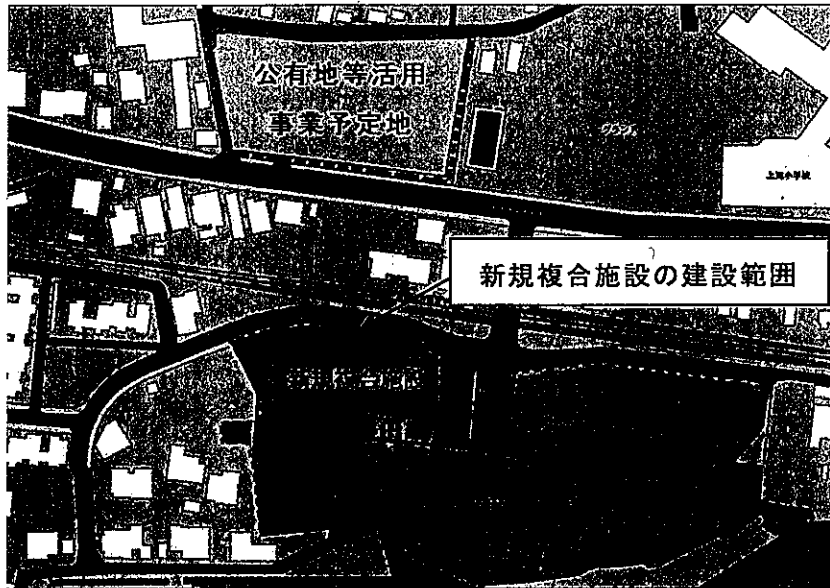
(単位：千円)

項 目	事業費
新規複合施設整備費等	1,459,227
維持管理費(15年1か月)	482,818
既存施設解体撤去費	417,597
合 計	2,359,642

#### (解体撤去対象施設)

大山行政サービスセンター(車庫等を含む)、大山地域市民センター、旧大山文化会館、大山図書館

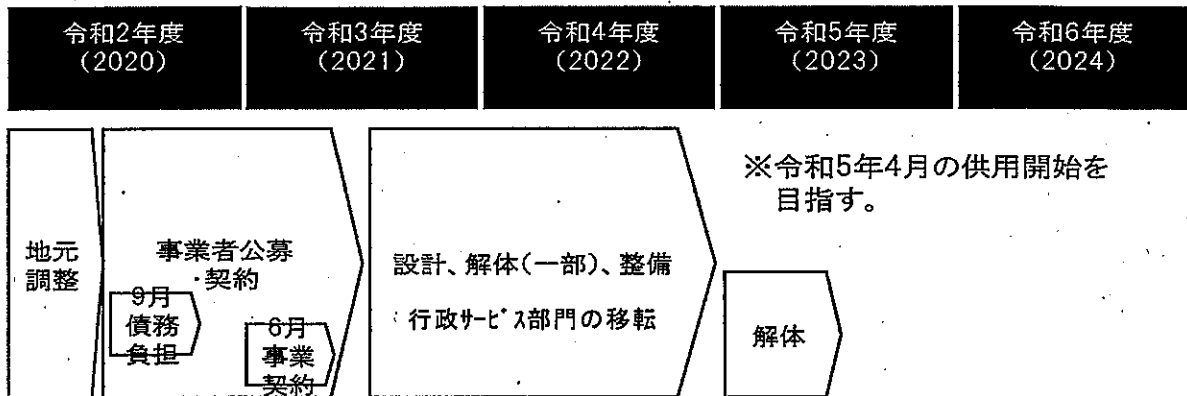
(3) アドバイザリー業務委託費 11,800千円 (財源は全額一般財源)



新規複合施設の配置イメージ

(4) 事業スケジュール

ア. 全体スケジュール



イ. 今後のスケジュール

日程	内容
令和2年8月	実施方針、要求水準書(案)の公表
9月	債務負担行為の議決
10月	特定事業の選定・公表、募集要項等の公表
令和3年3月	事業者の選定
6月	事業契約の締結



## (5) 公有地等活用事業

### ア. 事業の概要

新規複合施設の完成に伴い、令和5年4月以降、現在の大山行政サービスセンター及び大山地域市民センターを解体後の跡地（北側敷地）については、公有地等活用事業用地として、公募により民間事業者に貸付けを行うこととするもの。

なお、跡地活用施設としては、現在大山地域に立地がない商業施設（スーパーやドラッグストア）を想定している。

対象地	貸付対象面積	事業方式
大山行政サービスセンター等跡地	約 4,300 m <sup>2</sup>	市が土地を有償貸付（事業用定期借地権設定）し、民間が施設を整備する。

### イ. 全体スケジュール

令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

活用方法の検討、事業者の公募・選定、基本協定(覚書)の締結、既存施設の解体撤去、事業用定期借地権設定契約の締結

※令和5年度中の商業施設の開業(予定)

### ウ. 今後のスケジュール

日程	内容
令和2年10月	募集要項の公表
12月	提案資料の受付
令和3年1月	事業者の選定
2月	基本協定(覚書)の締結
令和5年4月以降	事業用定期借地権設定契約の締結

※令和5年度中の商業施設の建設及び開業(予定)

## 6 市職員のテレワーク環境整備事業について

[情報統計課]

(1) 補正額 149,185千円

財源内訳 国庫補助金 149,185千円  
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

(2) 事業目的

ウィズコロナ・アフターコロナ社会における行政のデジタル化及び多様な働き方を推進するため、テレワーク（サテライトオフィス・在宅勤務）の環境基盤を整備するもの。

(3) 事業内容

ア. サテライトオフィスの環境基盤整備 103,150千円

出先機関等を利用したサテライトオフィス環境の整備・拡充を図るもの。

【事業費の内訳】

(消耗品費)	Wi-Fi子機(約1,800個)	9,900千円
(委託料)	アクセスポイント配線・設置作業	26,750千円
(備品購入費)	アクセスポイント(約350台)等	66,500千円

イ. 在宅勤務の環境基盤整備 46,035千円

セキュリティ対策を講じたうえで、自宅から市内LAN環境にアクセスできる環境を整備するもの。

【事業費の内訳】

(委託料)	在宅勤務用通信管理サーバ構築	21,285千円
(備品購入費)	サーバ機器・ライセンス等	24,750千円

【管理運営事務費】

## 7 インターネット環境改善事業について

[富山ガラス造形研究所]

(1) 補正額 3,057千円

〔 財源内訳 国庫補助金 3,057千円  
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金) 〕

(2) 事業目的

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から行っているオンライン授業等について通信環境を改善することで、より効果的に実施できる態勢を構築するもの。

(3) 事業内容

オンラインによる授業や会議を円滑に実施できるよう無線LAN設備の改修等を行うもの。

【管理運営事務費】

## 8 体温検知システム及びQR決済システムの導入について

[ガラス美術館]

(1) 補正額 1, 172千円

財源内訳 国庫補助金 1, 172千円  
(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

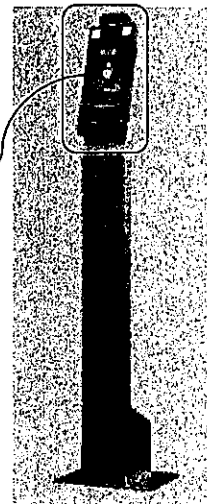
### (2) 事業目的

ガラス美術館の来館者やスタッフの新型コロナウイルス感染リスクを低減するもの。

### (3) 事業内容

ア. 体温検知システムの導入 832千円

来館者等の安全確保のため、一定以上の発熱を検知できる非接触型の体温検知システムを受付窓口に設置する。



イ. QR決済システムの導入 340千円

窓口での観覧料支払い時に、現金の取扱いをできるだけ減らすため、これまでのクレジットカード決済等に加え、QR決済システムを導入する。

【管理運営事務費】

9 ガラス美術館受付・監視等業務委託に係る債務負担

行為の設定について

[ガラス美術館]

(1) 債務負担行為補正

(単位 千円)

事項	期間	限度額
ガラス美術館受付・監視等業務委託費	令和3年度	119,400

(2) 事業目的

令和3年4月からの「ガラス美術館受付・監視等業務」について、令和3年4月1日からも途切れることなく同業務が行えるよう、令和2年度中に提案競技を実施し、業者を選定する必要があるため、債務負担行為の設定を行うもの。

(3) 事業内容

美術館にふさわしい雰囲気づくりや質の高い接客業務を行うとともに、多様な利用者のニーズに的確に対応した、受付及び展示室内の監視業務を行うもの。

(4) 今後のスケジュール

日程	内容
令和2年 9月	債務負担行為の議決
11月	募集要項等公表、募集開始
12月	提案競技実施
令和3年 1月	事業者の選定
4月	業務委託契約締結